

2018年1月

TANNIN&FASHION

AJU

SHIGA RITOU CITY
www.babasama.jp

Omae farm

SHIMAME MATUE CITYK
www.kinokode.com



2018 A COMMENCÉ. COMMENT EST VOTRE HUMEUR ?

Mon thème de couleur vous voulez alimentaire avec les champignons et le rose, le coton et la femme on dirait ! Vélo et randonnée

2018年がスタートしました。気分はいかがですか？ 東日本大震災のあった3月に私は東京から滋賀県に移り住み、早いもので、まもなく7年になります。‘継続は力なり’と云われますが、お陰様で帆布タンニン染めは衰えません。

今年も染屋さん織屋さん洗い屋さんを合せて品質を安定させてお届けします

パソコンとiPhoneがつながる環境があれば何処とでも連絡がとれる事は私の行動を変えました。島根の山でキノコを収穫していてもタンニンの発注を受けて出荷の指示ができません。事務所に座ってなくても、自転車で坂道をあえいでいても電話が鳴ります

まあ、そういう時は息を整えてから電話をかけ直しますが、。今何してるの？と云う問掛けが一番困ります。東京で仕事をしていた頃と一番違う事は 野外にいる時間が多くなりま

した。したがって顔は紫外線効果で黒くなりました。若かった頃と比べて身長が5cm減りました。高齢化に伴って体も予期しない事が起きる訳です。書店で気になった”100年時代の人生戦略”という本を買いました。要するに”働け”と云うことです。

キノコの栽培をしている島根の田舎は私の生まれ育った所です。浦島太郎が竜宮城で乙姫様と女遊びをして帰ってみれば、知合達は皆もうこの世にいない寂しくなって玉手箱を空けて煙が出る話があります。一寸違うけれど、仲の良かった同級生は死んじゃったり、女友達を見る影も有りません。残念ながら玉手箱の代わりにPCとiPhoneを開く訳です。枯れ木に花を咲かせる爺さんの話がありました。キノコリになって山に入りチェーンソーで木を切ってシイタケ菌を打ち込み作業を始めている私です



棉栽培は太陽と気温 そして何処まで気遣いをして育てるかでした

植えれば良い訳ではなく、雑草獲りや肥料、支柱を立てたり、虫の駆除面倒をみてやらねば良い棉が出来ない！その後の糸紡ぎまで一年掛り。オーガニックで育てる有言実行は困難を極める



シイタケの収穫は今年2月から3月の中頃

までです。寒い季節から春を感じて芽をだすこの時期の活力の詰まったシイタケを食べて貰う。美味しかったという声が一番の応援歌
山に入る人も近年は私一人みたいな状況になりました。その分 山も私を待っていてくれると云う感じだ。



ミシンを使ってみる

昨年からアトリエに持ち込んだミシンを使いこなす？

最初の基本段階はクリアしたか?していないか?微妙です。オーガニックコットンの生地でベッドシーツを縫ってみました。この半年使用中です。自分で縫えると改善策が浮かぶと、すぐやり直してみる事が出来る。どの布地が目的の物にふさわしいのか。ステッチの間隔、糸の太さとが布地に合うか等 やっていると一日がすぐ終わってしまう。私の勧める帆布は丈夫なのだが、縫うのは極めて難しい事が解った。



気になっていたアトリエのカーテンの裾も自分で修正できた

我がガーデンにて

植物との関わりが占める時間の割合が増えた昨年、今年もやはり変わらない。折角時間を掛けた仕事が失敗したり、だが経験値は上がります。



虫退治に諦めかけたけれど、殺虫剤ではなく地道に手で捕るのが一番。面倒の様でもやってみれば意外とそうでもなかった。

虫が嫌いな人のために過度の殺虫剤を吹きかける現在。真逆の農法は時間が必要だ！虫と共存する農法など無理ではないか、理想ではご飯が食べられない

日々の生活をブログやインスタグラムで発信する私ですが、個人情報を出しすぎではないかという忠告をうける。どこまで良いのか？

どこまで良いだろうという範囲を一応決めている。webは 新しく www.kinokode.com を作って www.babasama.jp から独立させました。タンニン染めのサイトとキノコの活動を分けたのです。

プライバシーをちらつかせる。恥ずかしい事もあるか？ 自分じゃ解らず乗せちゃう、時々面白いと評される。時には覗いて頂くとうれしいな。

タンニン染めのカタログ

を一新しましたが、中身は同じです。色が変わってしまったという苦情はなく、変化して色合いが良くなる訳で継続しています。データがないので定かでないけれど、15年は過ぎました。一旦お休みのお客様も再開されます。生地も同じ染め、後処理も同じなので

経験値が積み重なり物性も安定しています。化学染料で同じ雰囲気のものがあるのですが、最終的には自然の良さが 10年以上続けている証明でしょうか。

2018年はどうする？

別段特別な事は考えていません。流行が何だろう？ それに合わせて商品を企画する会社は大都市圏で頑張ってる会社を羨ましく思います。世の中には自分の感性に合った物を求める人が意外に多いのです
あれこれ中途半端にモノづくりをしてはいけません、今ごろになって悟った感があります
どうぞ、2018年急成長時代では無いのですから、地道にやっていきましょう

健康について

国の予算の3分の1が医療に使われる現実。我が親類の若者たちは医学部や看護の学生や医者の卵が殆どです。なんじゃ！ 物を作る仕事では給料が少ないので医療関連か？
医者のために国が減るのではという不安
老人が増えて子供が居ない 私の活動拠点島根県はまさしく危機的だ。

都会ではスポーツジムがあるが、田舎には健康体操がたまに模様される程度だ
私が一人息巻いてもあきません
最近マラソン参加者や自転車乗りが増えました
うっかり申し込みが遅れると受付終了です
沖縄のトライアスロン等はネット申し込みでクリック勝負となりました。

申し込みが許可されれば、決戦の日まで準備しなければなりません。ぶざまな結果を出さないように、その日のためにトレーニングをする訳です。目標を持つにはエントリーするのが一番。自分をやらなければいけない状況に追い込む事です

これは、他の事にも通じますね。

記：watabe